



学事システムをクラウドで刷新 仮想デスクトップで利便性と安全性を強化

NSSOLのDaaSで機密性の高い情報をリアルタイムで共有

背景

学事システムを刷新し、学生の情報を教職員がよりきめ細かく共有することで学生の就職を支援する。教職員が使用するPC端末の利便性を高めて情報共有を推進すると同時に、情報漏洩対策をこれまで以上に強化する。



学校法人 辻料理学館
教育本部 本部長
山田 研氏



学校法人 辻料理学館
教育本部 キャリア教育推進部
求人・求職事務グループ
乾 信幸氏



学校法人 辻料理学館
管理本部 総務部
マネジングスタッフ
山田 祐仁氏

tsuji

学校法人 辻料理学館
所在地：大阪市阿倍野区松崎町3-16-11
創立：1960年

ソリューション

新しい学事システムとして、新日鉄住金ソリューションズのクラウドサービス「NSAppBASE(エヌエスアップベース) for CampusSquare」を選択。同サービスへのアクセスに、DaaS(仮想デスクトップサービス)@absonneを使う。

成果

情報共有の推進と漏洩対策の強化という相反する課題が解決した。権限を持つ教職員が、セキュアなDaaSによって端末の種類や場所を選ばず、機密性の高い学生情報をリアルタイムで共有できるようになった。

学事システムの刷新に際してDaaSの導入を検討

「本物の料理を伝え、その料理によって人を幸せにするプロを育てること」を教育理念の柱とする辻料理学館。和・洋・中から製菓・製パンといった幅広い領域にわたる食のプロを、辻調理師専門学校・辻製菓専門学校で育成している。

辻料理学館が、学生の情報を管理する学事システムの刷新を検討したのは2009年ごろである。辻料理学館が展開する専門学校では、学生の就職支援強化に向けて学生の情報を教職員がよりきめ細かく記録・共有できる仕組みを求めている。また、学事システムでは学生の評価といった機微情報を扱うため、従来はシステムの利用時間や場所に強い制限を設けていた。新システムではPC端末の利便性を高めて情報共有を推進すると同時に、情報漏洩対策をこれまで以上に強化したいと考えた。

データをPC端末に残すことなくセキュアにアクセス

要件を踏まえて辻料理学館は、新学事システムに新日鉄住金ソリューションズ(以下、NSSOL)のクラウドサービス「NSAppBASE(エヌエスアップベース) for CampusSquare」を選択。同サービスへのアクセスにNSSOLの「DaaS(仮想デスクトップサービス)@absonne」を採用した。NSAppBASE(エヌエスアップベース) for CampusSquareは全国60以上の大学への導入実績を有するNSSOLのソフトウェア「CampusSquare」をベースにしており、カスタマイズやアドオンが容易である。

さらに、DaaS(仮想デスクトップサービス)@absonneを利用すると、学生の評価を含むユーザーデータへのアクセスがPC端末に残すことなくできるようになり、セキュリティやガバナンスを容易に高められる。

情報共有の推進と漏洩対策の強化という相反する課題を解決

新学事システムとDaaSの構築は2011年9月に始まり、2012年8月から運用を開始している。新システムでは、クラス担任と教科担任に加えて、就職担当者が学生の情報を共有できる。併せて、米Appleのタブレット端末「iPad」を活用し、学生の授業への出欠状況や授業態度といったきめ細かな情報をリアルタイムで記録できるようにした。

NSSOLの二つのクラウドサービスを活用することで、学生の評価のように機微情報を扱う業務が教職員のPC端末で可能になるとともに、業務のすべての処理がNSSOLのデータセンター内で完結。情報共有の推進と情報漏洩防止の強化という相反する課題が解決した。業務ごとに仮想デスクトップを用意する「カプセル化」で、教職員が1台の端末で複数の業務を安全に行うことも容易になっている。

Key to Success

辻料理学館が学事システムの刷新に際してDaaSの導入に取り組んだ背景は、教職員による情報共有を推進すると同時に、情報漏洩対策をこれまで以上に強化することである。

教育本部 本部長の山田研氏は、「授業形態が時間制から単位制へ移行するなど、この10年で専門学校の学校制度がかなり変化してきました。そのため、学事システムの仕様を抜本的に見直すのを契機に、IT利用効率の向上、情報系システムや教員のPC端末の管理強化などに向けて、DaaS(仮想デスクトップサービス)の導入を進めることになりました」と話す。

要件を基に、辻料理学館は新学事システムとして新日鉄住金ソリューションズ(以下、NSSOL)のクラウドサービス「NSAppBASE(エヌエスアップベース) for CampusSquare」を選択。同サービスへのアクセスにNSSOLの「DaaS(仮想デスクトップサービス)@absonne」を採用する。

DaaSは、ユーザーごとの仮想デスクトップをサーバー上に作成して、PC端末から遠隔操作する仕組みになっており、PC端末内にデータを残さない。

教育本部 キャリア教育推進部 求人・求職事務グループの乾信幸氏は「今までPC端末で教職員の方々が情報共有を行うには、時間や場所が限られていましたし、PC端末からの情報漏洩リスクもありました。DaaSの導入により、この問題は解消しています。セキュアなDaaS環境にログインすれば、端末の種類や場所を選ばず、機密性の高い学生情報をリアルタイムで共有できるからです」と語る。

DaaSを活用すると、学生の評価を取り扱う学事システムによる業務と教

材や出版原稿の作成など他のツールによる業務を同一の端末で行っても、利便性と安全性の両方を強化できる。

DaaSで機微情報にアクセス 利便性と安全性の強化を両立

管理本部 総務部 マネジングスタッフの山田祐仁氏は、「公立学校の校長室に、教育委員会用/校務用と複数のPC端末を設置した例の話を聞いたことがあります。同様のことをDaaSで実現しました。先生方は学外協力を含めて、性質の異なるさまざまな業務を一人でこなしますが、用途ごとに環境を分けることで管理が楽になります。また、PC端末には機微情報がないため、インターネット上の各種サービスの利用にも寛容になれます。設計上は、

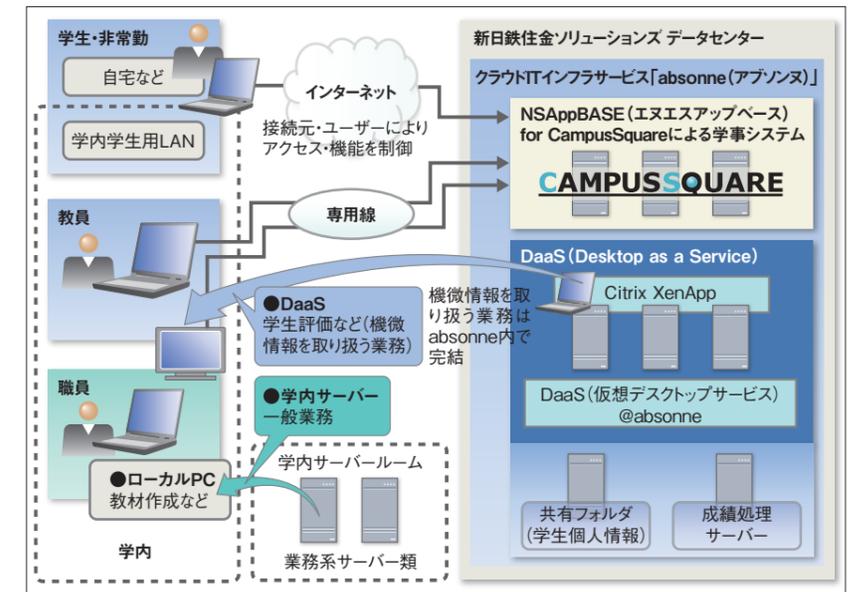
私物端末を業務に利用するBYOD(ブリングユアOWNデバイス)にも対応可能です」と語る。

DaaSでは、PC端末が障害で起動しなくなった場合のリカバリ時間も短い。DaaSではデータセンター側にデータを置くため、故障した端末を入れ替えるとすぐ業務を再開できる。

山田研氏は「実は私は当初、DaaSの導入に反対でした。アクセス権が細かく区切られて、教職員同士の情報共有という最も重要な部分がスポイルされると危惧したのです。しかし、DaaSでは外部への漏洩リスクに「面」で対処したうえで、内部では情報共有がしやすくなるのが分かり、最終的に導入を進めることになりました」と振り返る。

NSSOLへの期待は高い。山田研氏は「信頼できるITパートナーとして、NSSOLとは、今後も長くお付き合いしたいと思います」と述べる。

■辻料理学館が導入した学事システムの概要



■コアテクノロジー

クラウド・コンピューティング、DaaS(仮想デスクトップサービス)、CampusSquare

■システム概要

●サービス：NSAppBASE(エヌエスアップベース) for CampusSquare Standard(基本システム、教務サブシステム、入試サブシステム、就職サブシステム、出欠管理オプション、奨学金サブシステムなど)、DaaS(仮想デスクトップサービス)@absonne ●ユーザー：約200名、学生約2000名